

新年 賀 謹

やまぶき



発行所
11特OB会

連絡先

札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊広報室
TEL (011)-581-3191
内線2645

印刷
札幌造型合同会社

主な記事

- 二面 隊区市町村長・協力諸団体挨拶
- 三面 各中隊長・最先任上級曹長挨拶
- 四面 年男・年女新年の抱負
- 五面 新婚さん・新生児・新成人
- 六面 特科隊実射検閲他
- 七面 11特OB会総会他
- 八面 広告記事・お知らせ等



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。



第十一特科隊長
一等陸佐 西島 秀郎

十一特OB会、やまぶき会をはじめ協力諸団体、そして隊員家族の皆様とともに、新しい年を迎えられますことをお慶び申し上げます。

昨年は、隊務全体のバランスに留意しつつ錬磨に励み、所期の目標を達成できた充実した一年でした。訓練では陸幕課目指定演習において、参加した全隊員、全火砲に交戦訓練装置を装着した対抗方式による実戦的な訓練。国内では、初となる米海兵隊との共同実射訓練において、最大発射速度で射撃しつつ一任務ごとに火砲の射撃位置を小移動する実戦的な射撃。なお、これにあわせて実射検閲を受閲。方面隊職種協同訓練(特科)及び旅団演習では、火力調整、火力戦闘に師団等指揮システムを活用してターゲットインゲティングを訓練する等、最先端かつ初めての訓練に果敢にチャレンジして大きな成果を収めました。これらに加え、観測、砲班、武装走、拳法、銃剣道等の競技会。最大規模の人数により参加した「おたる潮まつり」等、隊員個々の活躍も光る実りの多い年でした。

これらの成果は隊員の努力はもちろんです。十一特OB会、やまぶき会をはじめ協力諸団体そして隊員家族の皆様の特科隊に対するご理解、ご支援の賜物と深く感謝する次第です。今年の特科隊創隊十周年の記念すべき年です。新しい年も皆様との信頼関係をより深めて、さらに前進したいと考えておりますので、どうぞよろしく願っています。

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。



十一特OB会
会長 黒田 則幸

第十一特科隊の皆様、ご家族の皆様、清々しい希望に満ちた新年を迎えられたことをご喜び申し上げます。

また、本年は特科隊創隊十周年の節目の年を迎えられることを重ねてお慶び申し上げます。

昨年は隊長をはじめ隊員、ご家族の皆様そしてOB会員の皆様のご指導・ご支援をいただき、OB会発足三十周年を迎える事が出来ました。

今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、国際規範を無視し、力による現状変更を推し進める中国の活発な海洋活動、核・弾道ミサイル開発を推進する北朝鮮やロシア軍の活発な活動等、引き続き不安定要因が存在することに変化はありません。そのような中において、陸上自衛隊は大変革の途上であり、より遅く効率化された組織に変わらうとしており、今後益々多様な任務において活躍することが期待されるものと思っております。

隊員の皆様には、日々の訓練に邁進され隊長を核心として一致団結、武力集団の原点を忘れず「強く」そして「謙虚」で真に逞しく精強な部隊へと発展されますようご祈念申し上げます。

私共OB会は会勢充実と会員相互の親睦を図りつつ、引き続き隊員の皆様に物心両面での支援・協力をを行い、隊の任務達成の一助となるべく活動してまいります。

年頭に当たり第十一特科隊の益々のご発展ご家族共々のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。




仁木町長
佐藤聖一郎

輝かしい新春を御健勝にて
お迎えのことと心からお喜び申し上げます
第十一特科隊の皆様へ
御発展と御多幸を祈念いたします



小樽市長
森井 秀明

謹んで新春のお慶びを申し上げます
この一年が皆様にとりまして希望に満ちた
素晴らしい年となりますことを
心からお祈り申し上げます



余市町長
嶋 保

輝かしい新春を迎え
第十一特科隊の皆様へ
ご活躍とご多幸を
お祈り申し上げます



積丹町長
松井 秀紀

謹んで新年のお慶びを申し上げます
第十一特科隊の隊員各位へ
一層のご精進と貴隊の益々の
ご発展をお祈り申し上げます



古平町長
貞村 英之

第十一特科隊の皆様
輝かしい新春を迎えられ
益々のご発展とご多幸を
祈念いたします



余市町自衛隊協力会
会長
中山 尚志

平成三十年の新春を迎え
謹んでお慶び申し上げます
世界の平和のため益々の
ご活躍をご祈念申し上げます



自衛隊小樽協力会
会長
山本 信彦

自衛隊 ありがとうございます
ありがとうございます 第十一特科隊



赤井川村長
赤松 宏

第十一特科隊の皆様
新春を迎えられ
皆様の御発展と御多幸を
祈念いたします




札幌自衛隊家族会理事
余市支部長
青山 由明

謹んで新年のお慶び申し上げます
第十一科隊の皆様と御家族様の
益々の御発展と御多幸を
お祈り申し上げます



札幌自衛隊家族会理事
小樽支部長
水野 政明

新年、あけましておめでとうございます
今年も隊員皆様と新しい年を
迎える事が出来て
私は何よりもうれしく思います。

第11特科隊

中隊長、最先任上級曹長から新年のご挨拶



本部管理中隊長
1等陸尉 石井 邦明

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は、国内における米海兵隊との共同訓練（N V）、職種協同訓練（特科）及び旅団演習等において、新装備の戦力化を図るとともに、観測斥候（イーグルアイズ）として初の陸曹による実射の観測の機会を得ることが出来ました。また、中隊において特科隊改編後初となる訓練班検閲を実施し、隊員一人ひとりと与えられた任務を完遂して、着実に練度を向上させることが出来ました。これも隊員ご家族並びに各種協力諸団体の皆様のご理解とご協力のおかげと深く感謝申し上げます。



第1中隊長
3等陸佐 西本 拓

新年明けましておめでとうございます。旧年中は皆様方から格別の厚情を賜り、誠にありがとうございました。昨年は我が国を取り巻く安全保障環境が大変厳しさを増し、特に北朝鮮の核・ミサイル問題は緊張感を持って対応しているところであり、その状況において即応態勢を維持しつつ、中隊は即応機動連隊化する第10普通科連隊との連携による「火力調整能力の向上」及び頻繁な小移動により「顕在化しつつ性格迅速な火力発揮」を練成目標として、特科隊実射検閲・米海兵隊との協同訓練・職種共同訓練・旅団攻撃演習等を活用し段階的に練度の向上を図ることが出来ました。本年も各隊員は「責任感を保持」して行動し中隊は「融和団結」して昨年の成果をさらに向上させ、皆様のご期待にこたえることが出来るように日々精進する所存です。引き続きご理解、ご協力及び激励を賜りますようお願い申し上げます。最後に、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



第2中隊長
3等陸佐 千葉 敬

新年明けましておめでとうございます。隊員ご家族の皆様、協力団体の皆様、諸先輩の皆様におかれましては平素から中隊へのご理解とご支援とを賜り誠に有難うございます。私は、昨年8月に第5代第2中隊長を拝命し、中隊の伝統の継承と更なる発展を目標に各種訓練等に取り組みで参りました。中隊は昨年、課目指定演習（HTC事前検証）、中隊訓練、隊実射訓練検閲及び旅団攻撃演習等に参加し、多くの成果と教訓を得て着実に練度を向上させました。また、隊砲班競技会及び隊武装走競技会におきましては、これまでの練成の成果を十分に発揮し、優勝の成果を収め連覇を達成することができました。これも隊員ご家族並びに各種協力団体の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。本年は中隊創立十周年と節目の年を迎え、本年も中隊は、昨年の成果及び教訓事項を活かし中隊の更なる飛躍を目指して一層の練度向上に努めて参ります。最後に、本年も皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様にとりまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



第3中隊長
3等陸佐 北條 則幸



新年明けましておめでとうございます。隊員ご家族の皆様、十一特科B会、やまぶき会の方をはじめ協力団体の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。現在、日本を取り巻く環境は依然として、厳しい環境にある中、中隊は昨年、海兵隊との共同訓練に参加し、日米同盟の更なる深化に貢献するとともに各種訓練等を通じて、如何なる任務にも「即応完遂」すべく、部隊の練度向上を図ってまいりました。本年も中隊は、更に上をめざして中隊一丸となつて、一歩づつ「前へ」着実に歩みを進め任務に邁進していく所存です。結びに、本年が皆様にとりまして、良い年となりますことを祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



最先任上級曹長
准陸尉 柴田 雄二

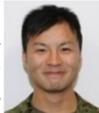
新年あけましておめでとうございます。隊員及びご家族、並びに協力団体の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。一昨年8月、第5代特科隊最先任上級曹長を拝命してから早一年半が経ちました。その間、明るく活気のある特科隊にするべく日々、准曹士が充実感・達成感を得られる様、指導して来ましたが、今年度は、年度当初からの高い目標に対し、隊員一人一人が、与えられた任務を黙々と完遂するとともに、准曹士の組織力を最大限発揮して、教育訓練に真摯に取り組んだお蔭で、多大な成果を収める事が出来ました。本年も、昨年同様、准曹士の組織力を遺憾なく発揮できるように、上意下達・下位上達に努め、隊員に対し基本基礎の徹底を図り、真に戦える隊員の育成に努めて参りますので、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後に、幸多き事を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



2018年(戌)年男・年女の皆さん

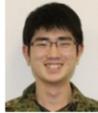
若さ溢れる24歳
(平成6年生まれ)

本部管理中隊 山下3曹



平成30年、成年年男としての自分の抱負を熟語で表すと「成熟」です。陸曹になってもうすぐ4年目になります。中堅陸曹として適切に物事を判断することができ冷静に仕事を進め、なにより己の任務に対する姿勢をしっかりとることができる。そんな陸曹でありたいと思います。妻と娘と仲良く幸せな年にならばと思います。

本部管理中隊 藤原3曹



年男としての抱負は、脱冷たい男イメージです。戌年の男性の性質として論理的すぎて冷たいイメージを持たれがちです。そのため、自分もそれに漏れず目つきが悪いか、冷たいということをおぼろげにわかってきました。2018年は脱・冷たい男!!そして、優しいイメージを持たれるようにしたいです。

本部管理中隊 北山3曹



あけましておめでとうございます。昨年は陸曹1年目で様々な経験を積みさせて頂きました。今年はその経験を恩返し・後輩育成という形で生かしていきます。平成6年生まれは甲戌といひ、特徴としては狂犬で食らいつくことがあったり、頑固で強情な一面もあるという、自分とは正反対でした。本管中は平成6年生まれが多いので気をつけてください。今年もご指導宜しくお願いします。

本部管理中隊 後藤3曹



皆さんあけましておめでとうございます。自衛隊に入隊して5年を迎えました。昨年は陸曹教育隊に入校し自衛官として社会人として学ばせていただいた年になりました。さて今年の干支が戌年ということで戌年について調べた結果、頑固で誠実だそうです。今年も和気を持って部隊に尽くす忠犬となり陸曹としてワンUPできる様な年になりたいと思います。

本部管理中隊 小名木士長

私の新年の抱負は、「一念発起」です。なぜ一念発起かと言うと、私は今年の3月に任期を満了して自衛官から会社員となり、新しい生活をしていくのですが、今まで自分は学歴を気にせず生活していました。しかし今年にはそんな自分を改めて、一念発起し通信制学校に入学し、学業と仕事を両立して頑張っていきたいと思っています。



本部管理中隊 鈴木1士

新年あけましておめでとうございます。昨年の春に自衛官として京都から北海道へと足を運び、教育を受け11特科隊に配属されて約半年が経ちました。本部管理中隊通信小隊有線通信手としてまだまだ知識や能力が低いので、通信手としての知識技能を身につけ日々目標を持ちながら努力をし仕事に励んでいきたいと思っています。



第1中隊 坂野士長

明けましておめでとうございます。今年で人生2度目の年男を迎えました。今年度は、第1陸曹教育隊に入校ということになり、忙しい半年間になりました。しっかりと教育を受けて中隊に戻った際は、しっかりと後輩隊員を指導又は育成できるように日々精進していきたいとおもいます。



第2中隊 長田士長

皆様、日頃の多忙な勤務及び訓練等お疲れ様です。今年で自衛隊入隊5年目という節目で年男を迎える事となりました。今までの自分の自衛隊生活は先輩等から言われたことをただこなすというやり方しかしてこなかったのですが、来年は自分にとって勝負の年なので何事にも全力で取り組んでいきたいです。



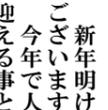
第2中隊 露木士長

明けましておめでとうございます。平成29年も気がつけば終了し、特科隊のカッコイイ尊敬できる先輩方のお陰もあり社会人として、自衛官として成長できたと思える年になりました。上司、同僚の温かい支えもあり、武装競技会でも24歳以下の部で第1位



第3中隊 立崎士長

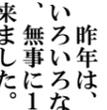
新年明けましておめでとうございます。今年で人生2度目の年男を迎える事となりました。私は、今年第1子の出産を控えており、父として新たなスタートを切れる事を喜ばしく思います。また、父親になるにあたって、一人、一自衛官として恥ずかしくないよう何事にも一生懸命励んでいきます。



まだまだ若い36歳
(昭和57年生まれ)

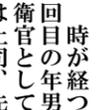
本部管理中隊 松本3曹

昨年は、先輩方や後輩等、いろいろな方のご指導を賜り、無事に1年を終える事が出来ました。今年もぼろぼろ頑張っています。どうぞよろしくお願い致します。



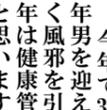
本部管理中隊 丸岡3曹

時が経つのは早いもので3回目の年男を迎えました。自衛官として勤務できているのは上司、先輩、同僚の方々のおかげで無事に新年を迎えることができました。今年も自分の任務・役割を自覚し、日々前進していきたいと思っております。最後に戌年だけに「ワンダフル」な年にしましょう。



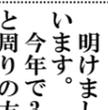
本部管理中隊 花ヶ前3曹

今年で36歳となり3回目の年男を迎えました。昨年はよく風邪を引く年でしたので今年には健康管理に気をつけたいと思います。まだまだ年齢的には若い方だと思いますが、体に違和感があったら早期受診をし健康の維持に努めたいと思います。



第2中隊 瀧川3曹

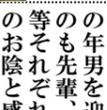
明けましておめでとうございます。今年で3度目の年男。初心と周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、日々精進していきたいと思っております。また、教習指導員としても3年目を迎えました。まだまだ半人前。旗本2曹、川田2曹の様な優しい?班長を目指し、安全な運転手を育てられるよう、更に努力していきたいと思っております。



気持ちは若い48歳
(昭和45年生まれ)

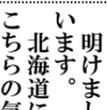
本部管理中隊 加賀谷曹長

いつの間にか48歳、4回目の年男を迎えることが出来るのも先輩、上司、同僚、後輩等それぞれのご指導とご協力のおかげと感謝しています。今年こそ年男として活躍したいと考えますが何分腰も砕け独りで未熟者です。これまで同様ご指導ご協力よろしくお願い致します。



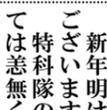
本部管理中隊 浅野曹長

明けましておめでとうございます。北海道に来て2年目を迎える。こちらの気候にも慣れ充実した毎日を過ごしています。新年の抱負として今年のテーマを「持続」とし、日々の健康管理や体力管理に努力して行きたいと思っております。また今年も1年よろしくお願い致します。



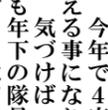
本部管理中隊 矢取1曹

新年明けましておめでとうございます。特科隊の皆様におかれましては恙無く新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに旧年中に賜りましたご厚情に深く御礼申し上げます。



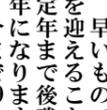
本部管理中隊 有馬1曹

今年で4度目の年男を迎える事になりました。気づけば一周年も二周年も年下の隊員と一緒に勤務するとは、自分自身驚くとともにまだまだ負けてたまるかとやる気が満ちてきました。



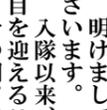
第1中隊 白川3曹

早いもので4回目の年男を迎えることになりました。定年まで後残すところ約6年になります。今更だ30数年やってこれたのも上司及び関係同僚皆様のおかげであることに感謝します。



第2中隊 木下2曹

明けましておめでとうございます。入隊以来、今年で早29年目を迎えることになりました。その間、様々な経験をし、成長できた年数だったと思います。残りわずかな自衛官生活ではあります。日々成長、挑戦し続けていきたいと思っております。



新婚さん・新生児・新成人

いつでも一緒に 楽しい新婚さん

本部管理中隊

高橋(旧姓新田)士長
明けましておめでと
うございます。



特科隊に配属されて
から、今までの間、特
科隊のマドンナとして
貢献してきた新田で
ございますが、12月30日に皆さんもご存知
である、高橋士長と結婚し晴れて人妻と
なりました。今年年の抱負としては夫婦
間の主導権を握るとともに毎日の弁当作
りを1日たりとも忘れることなく、頑張
りたいと思います。

第1中隊

石嶋3曹

明けましておめでと
うございます。



平成29年7月28日に、つ
いに結婚しました。
独身の時とは違い、家
庭を守る者として責任感が増し、ますま
す、これからも元気に自分だけではなく
妻と頑張っていきたいと思っております。
これからも、元氣印の石嶋で頑張りたい
ですので、あたたかい目でよろしくお願
いします。

第1中隊

江原3曹

私は、昨年の7月7日
に結婚しました。
また、11月19日に結婚
式を挙げ、中隊の皆様方
にも祝っていただきまし
た。



この結婚を機に、家族の為に、今まで
より一層頑張っていきたいと思っております。

第1中隊

能代谷3曹

明けましておめでと
うございます。
私は、平成29年3月19
日に結婚しました。
これからは、家庭を持
つ身として、より一層仕
事に励んでいきたいと思っております。



第3中隊

齊藤3曹

新年明けましておめで
とうございます。

昨年3月に入籍、10
月に挙式など人生の大きなイベントを迎
え、あつという年の1年を過ごした。夫婦
妻と初めて二人で新年を迎え、夫婦で
より一層成長していきけるように、努めて
行きたいと思っております。
今年もよろしくお願ひ致します。



眠気にも負けるな イクメン。バ。バ。さん

第1中隊 大浦3曹

7月24日に長男知典(と
もりのり)が産まれて4
カ月が経ちました。日々
息子の成長していくのが
楽しい毎日ですが、私も
父親として成長していきたいと思
います。



第2中隊 鈴木2尉

明けましておめでと
うございます。
昨年3月3日に、第3
子となる男の子が誕生し
ました。
名前は悠葵(はるき)と言
います。
家族が増えたとともに責任も増し、よ
り一層職務に邁進していきま
すので、家族ともよろしくお願ひ
致します。



第2中隊 外柳2曹

平成29年1月11日に待
望の第1子が誕生しまし
た。
名前は「陽菜(ひな)」
と言います。カワイイ女の子です。
家族も増え、にぎやかな毎日
を過ごしています。
今後家族の為により一層職務に
励んでいこうと思っております。



第2中隊 清田2曹

明けましておめでと
うございます。
昨年7月に第3子とな
る長女(愛心(まなみ))
が誕生しました。
初めての北海道での本格的な冬、家
族5人、楽しく体調管理に気をつけて頑
張っていききたいと思っております。



第3中隊 石川3曹

平成29年9月10日に、
第2子となる長が誕生し
ました。

どんな時でも穏やかな
心を持ち続け人中心にな
り、愛される子に育って欲しいという願
いを込めて「成美」と名付けました。
これからも家族ともども、宜しくお願
ひ致します。



新成人の抱負

本部管理中隊 三浦士長

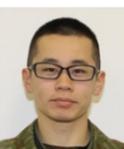
今年成人式を迎え、い
よいよ大人の仲間入りで
す。

これからは、社会人と
しての責任と自覚を持ち
行動一つ一つを改めていき
ます。
また自分のことだけでなく、人の事
も気遣うことができるよう精神的にも大
人になりたいです。最後に私は、まだま
だ足りないところばかりで頼りないと自
覚していますが、一つ一つ経験を重ね日
々成長し頼りがいのある大人になりま
す。



本部管理中隊 伊保士長

早20年が経ち、20歳と
なりました。成人とい
うのはもつと大人なモノだ
と幼き頃より思っていま
した。実際になってみ
ると大人のように大人でないのが成人な
だと感じました。



世間は二十歳を過ぎたら大人になれと
言っています。国防の使命を持った自衛官
として、国民に恥じる事の無い大人の
道を歩んでいけるよう精進して行きた
いです。

本部管理中隊 南士長

明けましておめでと
うございます。
今年で二十歳を迎え、
大人の仲間入りをし
ました。
社会人として一人の大人として責任感
のある言動、行動をとり、感謝の気持ち
を忘れず日々努力し、少しでも部隊に貢
献できるよう頑張っていきたいと思います。



第1中隊 藤本土長

私は今年で20歳になり
、社会的にも様々な権利
が増えるので、責任
感のある自覚を持った行
動をしていきたいです。
また、これまで育ててくれた両親やお
世話になった方々に感謝の気持ちを忘れ
ずにこれからも頑張っていきたいと思
います。



そして、将来は必ず陸曹になり、国の
役にたてるような立派な自衛官になりた
いと思っています。

第1中隊 中谷1士

私が20歳の成人式を迎
えるにあたっての抱負は
今までよりも責任感が大
きくなり、自衛隊員とし
ても新しく後輩を迎え、
さらには4月に士長にも
なり、責任感や、忙しさが今までより比
べものにならないものになるので気を引
き締め頑張っていきたいと思
います。



第2中隊 三上士長

明けましておめでと
うございます。
無事、成人を迎える事
が出来、日頃からお世話
になっている方々に深く
感謝申し上げます。
これからは、より一層自らの責任を
自覚し行動していきたく
思います。
二十歳という節目を迎え
ましたので、日々精進し立派な自衛官を
目指したいと思います。



第2中隊 山本土長

明けましておめでと
うございます。
私は、平成30年3月に
二十歳を迎えます。
新成人として、何より
一社会人として恥ずか
しくない言動をこころが
けたいと思います。
そして今更で支えてく
ださった多くの方々へ
の感謝の気持ちを忘れ
ず、折不断的に努力し
ます。まだ社会人とし
て半人前の私ではあり
ませんが、今後ともご
指導ご鞭撻の程、よ
ろしくお願ひ致します。



第2中隊 土方1士

私は、晴れて、新成人
になりました。
自分はまだまだ新成人とし
ての自覚を持っておりま
せん。
なので自分は新成人としての自覚と責
任を持たなければなりません。
更に、今年の後輩が入
ってくるので、恥ずか
しいこと、無いように
社会人としての志を持
ちしっかりとした大人
になっていきます。



これからもたくさん
の困難が待っている
かもしれませんが、
乗り越えていきます。

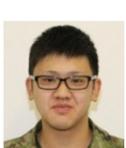
第3中隊 山上士長

成人を迎えるにあたり
私は、視野を広くし、強
い責任感を持って行動す
ることを目標としていま
す。ただ言われたことを
やるのではなく、自分で
考え物事に取り組んで
いき、成人になったこと
を強く自覚して、色
々な事に挑戦をして、
自分自身、今よりも成
長していきたいです。
そして、部隊に貢
献できる人間になる
ことを目指し頑張
っていきたいです。



第3中隊 横富士士長

成人するにあたり、大
人になったという事を自
覚し、責任感を持ち、中
隊に貢献出来るよう頑
張っていきたく
思います。
普段の勤務や競技会等
では先方に負けないよ
うに、一生懸命頑張り
たいと思
います。今年から陸曹
の試験を受験する事
が出来ると、周囲の方
々の助言を頂き、自
ら考え、成長に繋げ
ていきたいです。今
後は、誰にも負けない
という気持ちを持つこ
とと自ら考えて行動
することを大切に
していきたいと思
います。



Webでも第11特科隊の最新の活動状況がご覧いただけます！
まずは **11特** で検索!!

平成29年度特科隊実射検閲

隊は、平成29年8月22日(火)、矢白別演習場において、平成29年度特科隊実射検閲を受閲した。

小雨が降りしきる天候であったが、統裁官(第11旅団長 竹本陸将補)が視察する中、広域に分散した陣地において、頻繁な小移動と最大発射速度による射撃及び迅速な安全点検による実戦的な訓練を実現しつつ、特科隊全隊員がすべての努力を弾先に集中して射撃を行った。その結果、全種目をスムーズにクリアし良好な成果を獲得できた。

平成29年度砲班競技会

隊は、平成29年8月23日(水)に、矢白別演習場において、平成29年度砲班競技会を行った。競技会は、砲班の練度向上を図ることを目的に行い、弾薬開梱から組み替え、陣地進入から射撃準備、射撃、撤去・出発の4項目について、速度と精度を競い合った。各砲班は、班と中隊の名誉をかけ、これまでに練成した成果を発揮するため、班内の連携に工夫を凝らして競技に臨み、その結果、第2中隊第2砲班が優勝を果たした。閉会式で「隊は、敵に勝つ特科隊を目標として日々練成訓練を実施しているが、各砲班の速度、精度を確認し、その目標達成が可能であると確信を得た」との統裁官所見を受け、競技会を終了した。

日米共同特科実射訓練

隊は、平成29年8月25日(金)から8月27日(日)の間、矢白別演習場において、米国第12海兵連隊(連隊長 モーガン大佐)と、国内初の日米共同特科実射訓練を行った。訓練は、射撃練度の向上を図るとともに、日米が共同して火力発揮する場合における火力調整及び部隊運用要領を演練する目的で行われ、日米双方が共同で作成した訓練想定により一連の状況下で、実戦的な火力戦闘を行った。訓練終了後には、AARを行い日米相互の戦法、能力の違いを整理するとともに、日米共同における火力調整要領のあり方、今後の訓練における方向性等を相互に認識できた。また、訓練を通じて日米両国の隊員一人ひとりが意思疎通を深め、良好な信頼関係を築き、多大な成果を収めて訓練を終了した。

平成29年度旅団攻撃演習

隊は、平成29年9月19日から9月24日の間、上富良野演習場において、平成29年度旅団攻撃演習に参加した。隊は、情報・機動・火力の連携による戦い方を主動して、旅団の総合戦闘力の最大限発揮に寄与するため、師団等指揮システム(FICS)を活用したターゲットイングの実現及び普通科連隊レベルにおける火力調整能力向上を目的として訓練に臨んだ。観測斥候の精鋭であるイーグルアイズは、交戦装置を装着して敵中に潜入し、敵重要目標の標定・火力誘導の演練をそれぞれ行った。台風18号の影響による悪天候を克服し、多くの教訓を得て旅団の陣地攻撃における任務達成に寄与した。



連続装填による射撃



優勝砲班(第2中隊第2砲班)



厳粛に行われた訓練開始式



隊長が旅団長に火力戦闘状況を報告する会議
(写真中央 隊長 右 旅団長)

平成29年度旅団武道競技会

拳法の部 Bグループ優勝

隊は、平成29年12月13日及び14日、真駒内駐屯地東体育館で行われた『平成29年度旅団武道競技会』に参加した。

銃剣道の部は13日の開会式後から行われ、特科隊員が熱い声援を送る中、選手達は、これまで練成した成果を遺憾なく発揮し、第3試合まで、いずれも11人中8人が勝利を収める強さを見せつけた。そして14日に行われた第4試合は第11戦車大隊と優勝をかけた試合となり、白熱した勝負を繰り広げ、善戦したものの惜しくも一本の差で準優勝となった。

続く拳法の部は、14日午後から行われ、第3試合まで安定した試合内容で順調に勝ちつづけ、こちらも第4試合は、第11施設隊と優勝をかけた試合となった。

2勝2敗の五分で迎えた大将戦において先に相手選手に1本を取られる絶対絶命のピンチの中、大将の第2中隊瀧川3曹と応援する特科隊員の皆が一つとなり2本を連取して見事『Bグループ優勝』の成果を収めた。



上 拳法の部Bグループで優勝を掴んだ選手達
中 肘の痛みに耐え、相手の剣先を制す(第3中隊 北村士長)
下 特科隊全員の心を一つにし熱い応援



大将の渾身の一撃(写真右 第2中隊 瀧川3曹)



高さ約30メートルの崖にひるむことなく懸垂降下する隊員(本部管理中隊 青山2曹)

隊は、平成29年10月23日から10月27日までの間、真駒内駐屯地及び恵庭市恵庭岳において、平成29年度特科隊冬季山岳遭難救助訓練(基礎訓練)を行った。本訓練は、特科隊冬季山岳遭難救助要員の練度の維持向上及び新たな基幹要員を養成する目的で行い、14名が参加した。

訓練は段階的に行い、当初、真駒内駐屯地レンジヤール訓練塔において、各種器材操作及び懸垂下降、遭難者搬送法等を練成した後、26日には、恵庭岳において険しい地形(斜度約80度、高さ約30m)での、懸垂下降訓練等を行った。

山岳救助訓練に初参加の隊員からは、「参加にあたり、不安もあつたが、段階的な訓練により救助に必要な技術・体力・精神力を修得することができた。特に、絶対に救助者を救護・搬出するという強い使命感を涵養できた。」との所見があつた。

また、本訓練では隊員個々の練度向上はもとより、組訓練を通じて、隊員間の連携強化が図れる等、多大な成果を収めることができた。

平成29年度 冬季山岳遭難救助訓練

平成29年度 11特OB会懇親会



平成29年11月18日札幌市内のホテルにおいて、平成29年度11特OB会(会長 黒田氏)懇親会が行われた。現11特科隊の隊員も含め、約70名が集まり、特科隊の近況や昔の懐かしい話などで大いに盛り上がった。宴会の終盤には参加者の多くが、ステージに上がり、第11特科隊歌を熱唱し、盛会裏に懇親会を終えた。

全員で懇親会の終わりに第11特科隊歌を熱唱

定年退官者紹介



阿部 3尉
(小樽市)
H29. 9. 13



坂井 曹長
(札幌市)
H29. 9. 30



山田 准尉
(札幌市)
H29. 10. 2



丹代 1尉
(札幌市)
H29. 11. 25

永きに亘る此の防人
お疲れ様でした。

※()については定年後の居住地
日付は定年退官日

OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後必要とされる方は、更新手続きをお願いします。
手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行っています。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 松山

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になります。この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなり、万が一ご本人が亡くなられた場合には、死亡日を含め五日以内に最寄りの地方協力本部、第11特科隊へ連絡することをご家族共々くれぐれもお忘れの無いようお願いいたします。

三 その他

特科隊舎一階には特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室がございます。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四六) 担当 吉田